

[江別市] 施策達成度報告書

政策 05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実

施策 04 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造

主管課 生涯学習課

施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (22年度)	施策の課題 (22年度)
<ul style="list-style-type: none"> ・現在の不安定な社会、経済状況を背景に、市民は、「心の豊かさ」、「心の癒し」や「生活の質の向上」を芸術や文化に求める傾向にある。青少年にとっても、優れた芸術や文化に触れ、心豊かな人間としての成長が望まれる。 ・市内では、NPO法人やボランティアの支援による市民や青少年のための芸術、文化活動の充実が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人やボランティアによる芸術、文化活動の支援に対し、側面的な協力や援助を行い、歴史的遺産の活用や鑑賞型から参加型への事業転換、さらには、市外への活動状況の発信などを進める。

施策の目的

鑑賞型の文化事業に加え参加・育成型の文化活動を支援するとともに、文化財を保護し、歴史的遺産を活用した環境整備を進めることによって、市民のふるさと意識を醸成します。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、文化財、歴史的遺産

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

市民の生活文化が豊かになる 鑑賞型文化事業に加え、参加・育成型の文化活動を行う市民が増える 文化財を保護し、歴史的遺産を活用した環境整備を進め、ふるさと意識を持つ

施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
芸術文化活動に参加している市民割合	%	51.4	45.0			↗
江別の歴史と文化に誇りを持ち愛する気持ちを持つ市民割合	%	37.6	43.9			↗

施策の達成状況 (22年度)

二つの成果指標は、全市的に調査する隔年実施のアンケートによるものであるため成果を確認できないが、市民自らが参加する文化事業に大きな変化はない。事業の参加数はやや減少傾向にある。一方で江別特有の歴史や文化に愛着や関心を持つ市民が増えている。今後は地域から発信し、地域で受容される地域文化の創造を目指し、地域で活動している団体との連携を強めていく。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	253,711	241,557	232,607
事業費(千円)	180,270	170,226	161,326
人件費(千円)	73,441	71,331	71,281

01 自主的市民文化 芸術活動の育成・支援

基本事業の目的

文化事業の補助・支援や施設整備により、市民が質の高い芸術文化に親しめる機会を増やし、理解を深めます。また、文化活動の場と発表の機会を広げ、活発に文化活動が行えるようにします。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、アーティスト、文化団体

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

・市民の自主的文化活動の活発化とアーティストの集積などによる独自の芸術文化の発信や関連産業の創出により、市民文化の質の向上が図られる。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
各種文化事業数	件	201	317	269		250
各種文化事業参加者数	人	85,863	94,664	76,972		90,000

基本事業の達成状況 (22年度)

市民参加による各種文化事業数は初期値に対して増加したが、参加者数は減少した。平成21年度と比較すると事業数、参加者数とも減少した。地域文化の創造のためにも今後も引き続き事業内容の充実や参加者主体の実施のため育成支援していく。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	163,908	142,312	145,806
事業費(千円)	132,788	112,490	115,663
人件費(千円)	31,120	29,822	30,143

02 文化 芸術を支援する市民組織の育成

基本事業の目的

文化支援のNPOや市民メセナ(芸術文化支援活動)などを育成支援し、市民の手による芸術文化事業を拡大します。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、NPO等文化芸術団体

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

・企業、財団、NPO等の民間組織による芸術文化事業等が拡充され活発に活動される。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
NPO等の芸術文化支援組織数	件	3	3	3		5
市民組織による芸術文化事業数	件	85	87	85		90

基本事業の達成状況 (22年度)

団体数、文化事業数ともほぼ同数であり、NPO等の文化団体は、市民のための良質の芸術鑑賞や文化事業参加の機会を引き続き提供して、地域文化の発展や拡充のため活動を展開している。今後も関係機関との連携を含め市民のための事業推進が図られるよう育成支援していく。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	6,374	6,324	5,509
事業費(千円)	3,055	3,100	2,250
人件費(千円)	3,319	3,224	3,259

03 文化・歴史遺産の保存と継承

基本事業の目的

史跡整備や文化財・まちの歴史の調査などを行い、江別市の文化・歴史遺産を後の世代に正しく継承します。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、郷土の歴史や芸能等の継承に関わる団体

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

・文化財や歴史遺産の継承とその保存活用により、地域特性に根ざした文化の創造と新しい都市のアイデンティティが形成される。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
文化財や歴史遺産の継承と保存活用により個性豊かな文化が育っていると 思う市民割合	%	44.0	43.8			↗

基本事業の達成状況 (22年度)

成果指標は、隔年実施のアンケートによるため成果を確認できない。郷土資料館では開館20周年記念事業で縄文文化を紹介する特別展を開催したほか伝統芸能「野幌太々神楽」の発表会にも共催協力し、また、セラミックアートセンターでは土器の野焼き体験事業を行うなど、ふるさとの歴史・文化を後世に伝えていくことに努めた。しかし、日常生活との関わりが薄い分野ということもあり、成果指標は横ばい状態である。現在、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」を世界文化遺産に登録する運動が進められており、市民の縄文文化に対する関心も高まることが期待される。今後も郷土の文化・歴史遺産の正しい継承に地道に取り組むことが必要である。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	63,188	68,801	61,285
事業費(千円)	27,090	33,337	26,257
人件費(千円)	36,098	35,464	35,028

04 れんがの保存と活用

基本事業の目的

歴史的れんがが建造物の保存・活用を図るとともに、れんがの活用を進めます。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、歴史的遺産

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

・れんがの保存活用

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
れんがのまちを誇りに思う市民割合	%	74.0	78.1			↗
れんがを活用している市民割合	%	42.3	42.4			↗

基本事業の達成状況 (22年度)

成果指標は隔年実施のアンケート調査によるものであるため成果を確認できない。れんがの利用に関しては、窯業ひいてはセラミックスに係る各企業の振興が不可欠である。市では、関係企業・研究機関と共に「セラミックス交流会」を運営し、連携促進を図っているところである。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	19,790	19,084	19,566
事業費(千円)	17,301	17,069	17,122
人件費(千円)	2,489	2,015	2,444